

<https://www.youtube.com/watch?v=CFEL2JXs280>

七世紀、律令制王都の絶対条件

— 律令制官僚の発生と移動 —

古賀達也 (古田史学の会)
令和5年(2023) 3月18日

YouTube講演は、表題をクリックしてご覧下さい

七～八世紀の王宮平面図



大殿
— 大門 (船門) —
庁 (朝堂) 庁 (朝堂)
宮門 (南門)

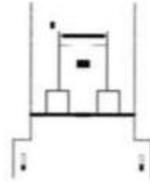
小墾田宮模式宮 (603-655)



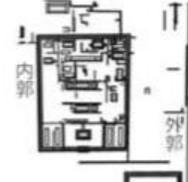
前期難波宮 (長柄豊碓宮) (652-686)



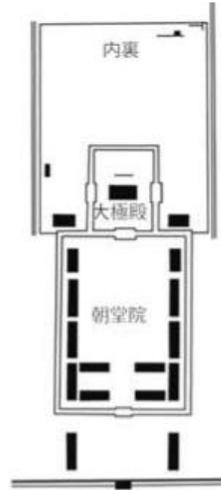
後飛鳥岡本宮 (7世紀後半)



大津宮 (667-672)



エビノコ郭
飛鳥浄御原宮 (7世紀後半)



藤原宮 (694-710)

大宰府政庁II期

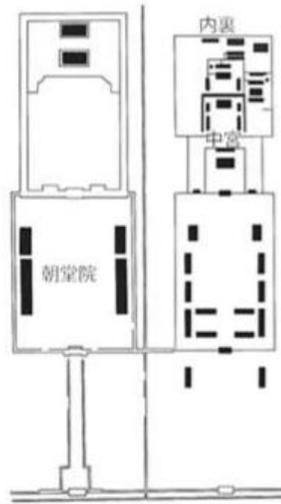
前期難波宮

飛鳥岡本宮

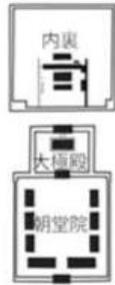
近江大津宮

飛鳥浄御原宮

藤原宮



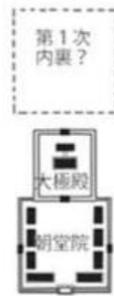
平城宮I (8世紀前半)



後期難波宮 (723-784)



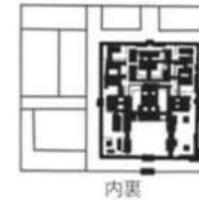
平城宮II (8世紀後半)



長岡宮 (784-794)



平安宮 (794-?)



平安宮 (794-?)

0 200m

第11図 古代宮都の変遷図



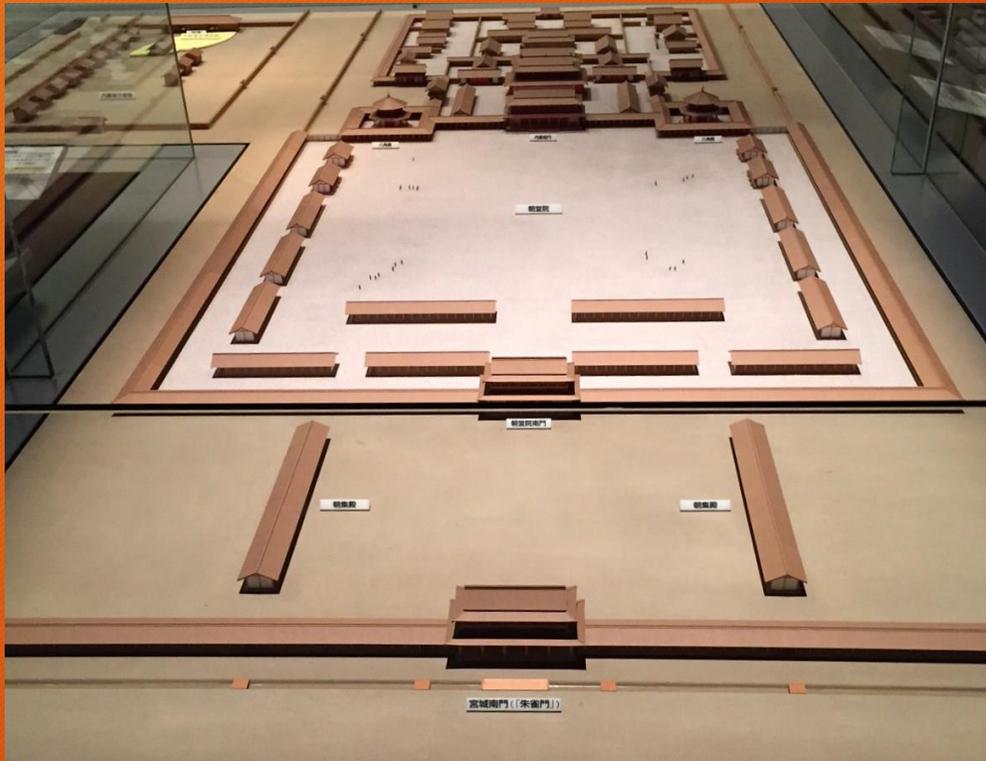
藤原京と飛鳥宮 模型

持統天皇八年
(694年)に
飛鳥宮から
藤原宮に遷都

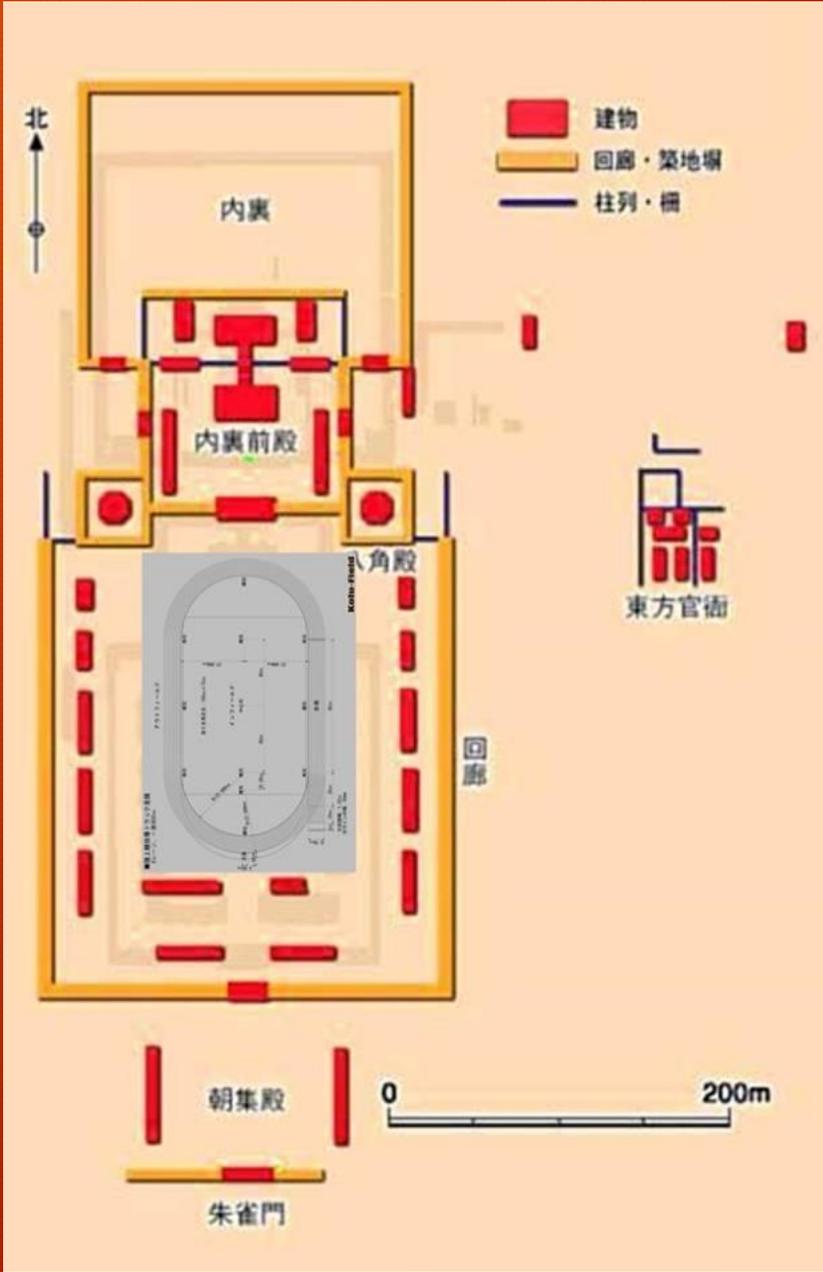


藤原京(新益京)





前期難波宮 六五二年
(九州年号白雉元年) 創建。
六八六年に焼亡し、同年
七月に朱鳥元年と改元。





崇福寺出土 無文銀錢



唐橋遺跡出土 無文銀錢

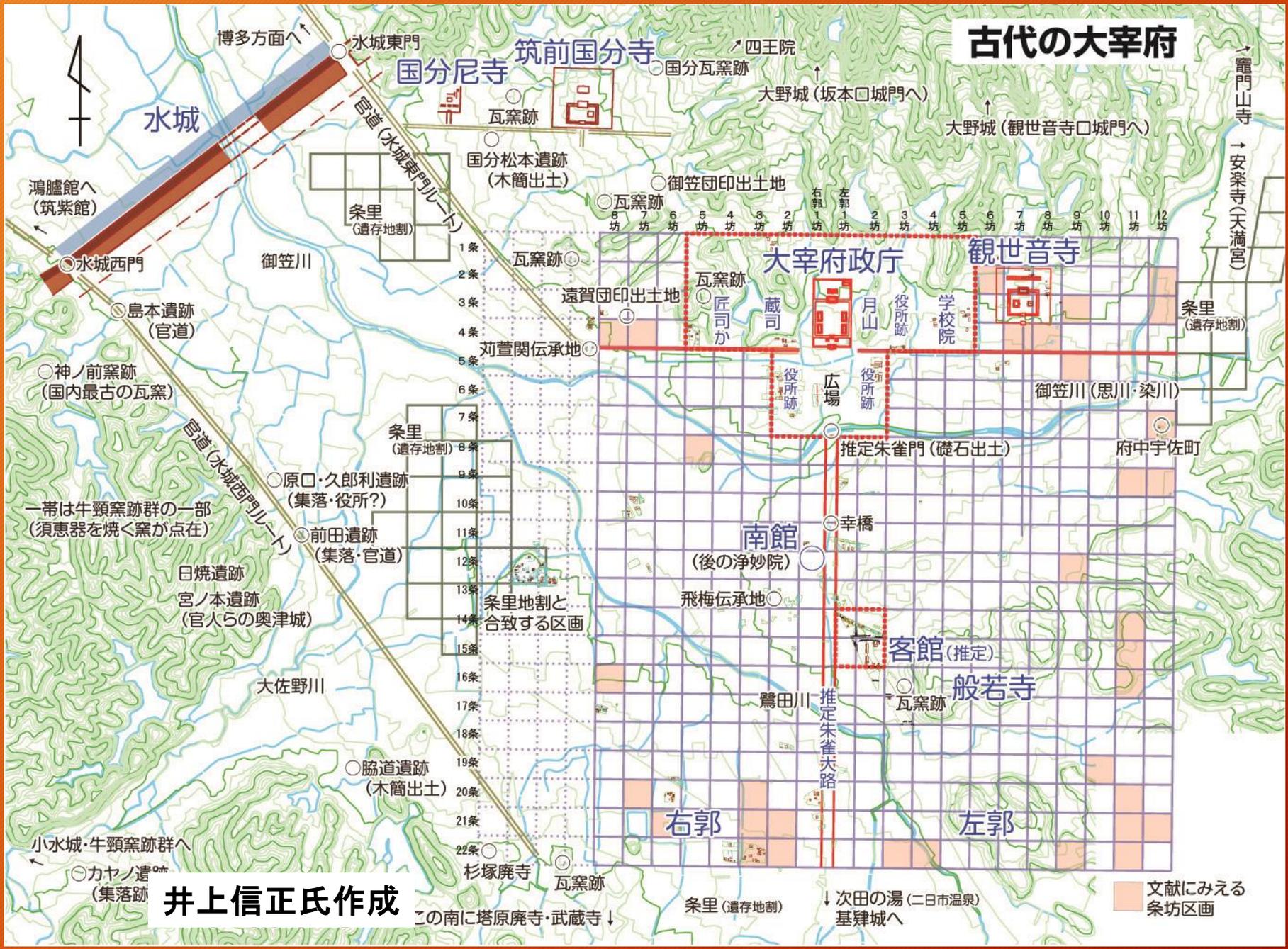


近江大津宮 復元模型



近江京 想像図

白鳳元年(六六一年)に遷都
『海東諸国紀』による



古代の大宰府

水城



大宰府政庁(模型)



復元模型写真提供:九州歴史資料館



筑紫前畑土塁

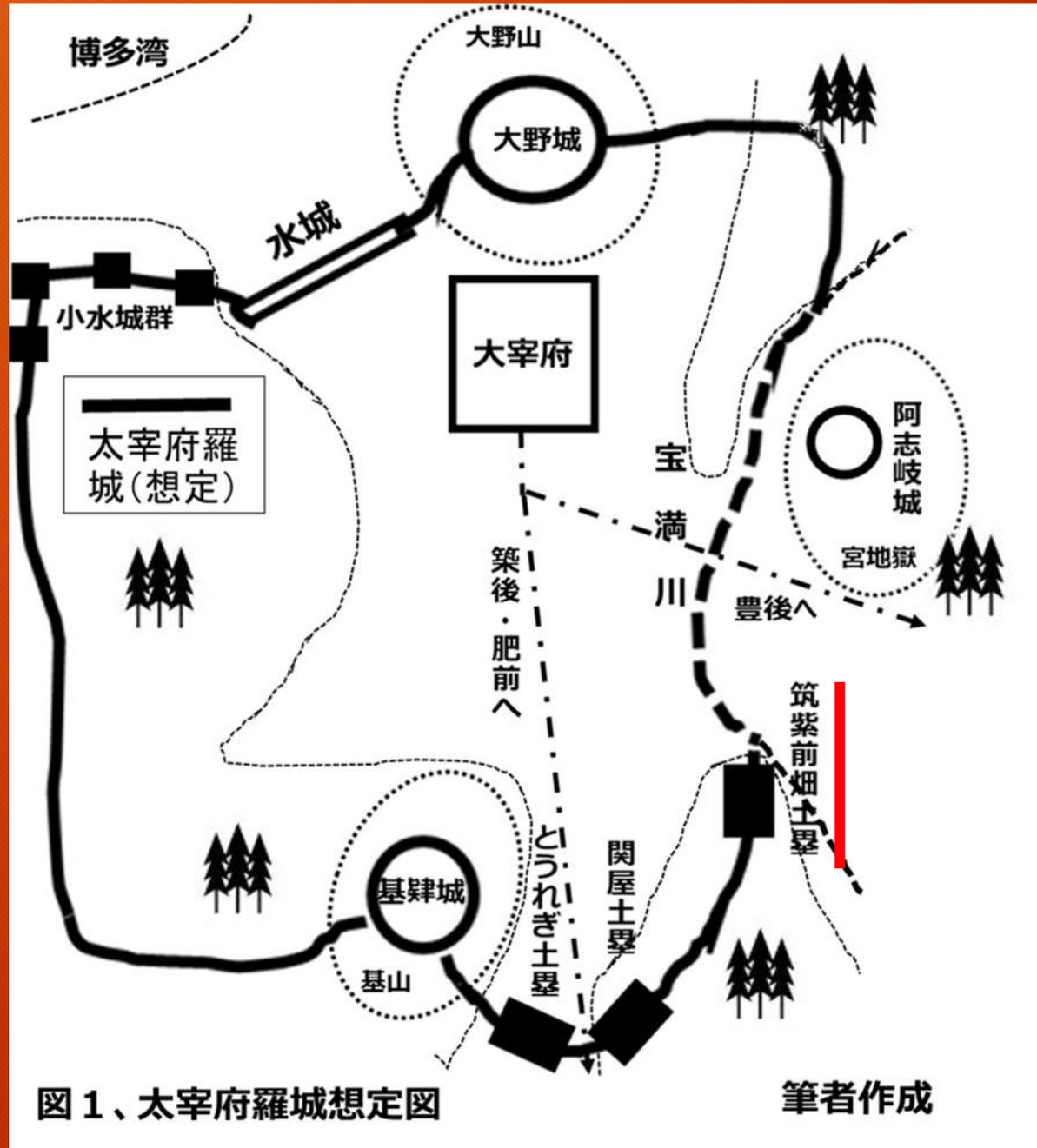
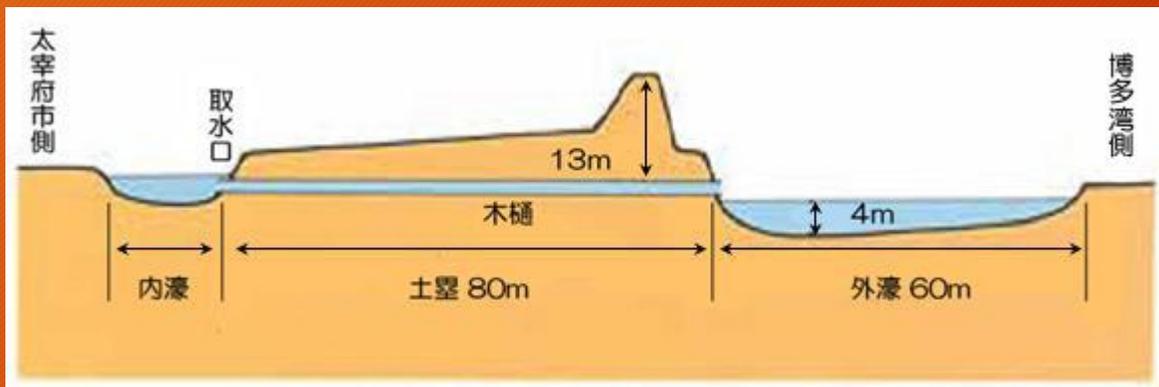


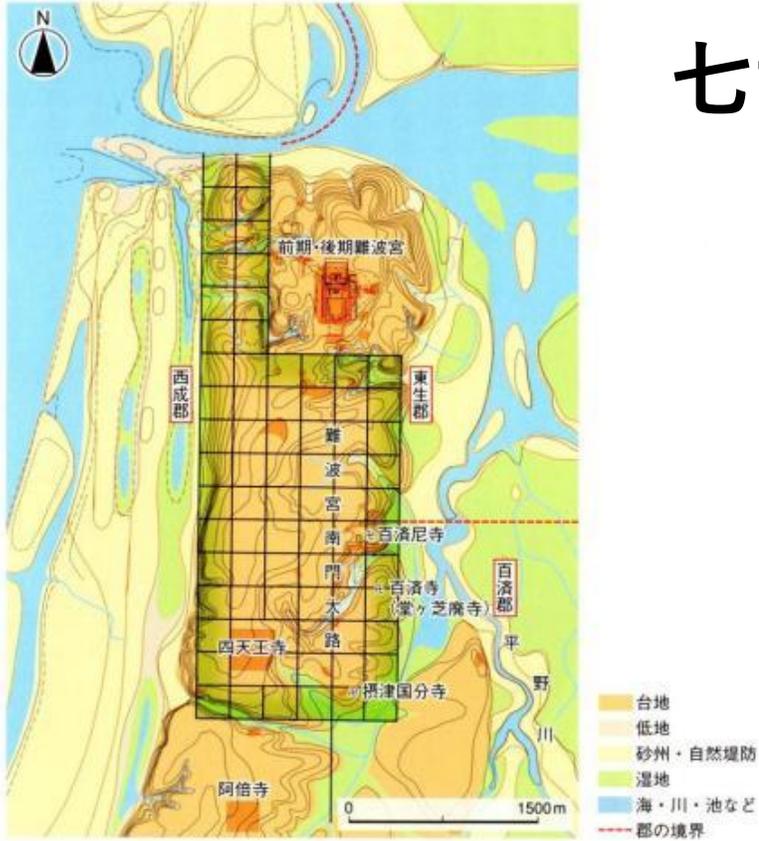
图 1、太宰府羅城想定図

筆者作成



水城 古代日本最大の防塁
大野城 国内最大の山城

七世紀の条坊都市



● 後期難波京の頃の上町台地復元図
最新の地理情報システム (GIS) に、過去の1000件を超える発掘調査のデータを入力して上町台地の旧地形が復元された。これに難波京復元案を重ねたのがこの図である。科学研究費補助金による最新の研究。
出所 / 「東アジアに開かれた古代王宮 難波宮」

前期難波宮と難波京



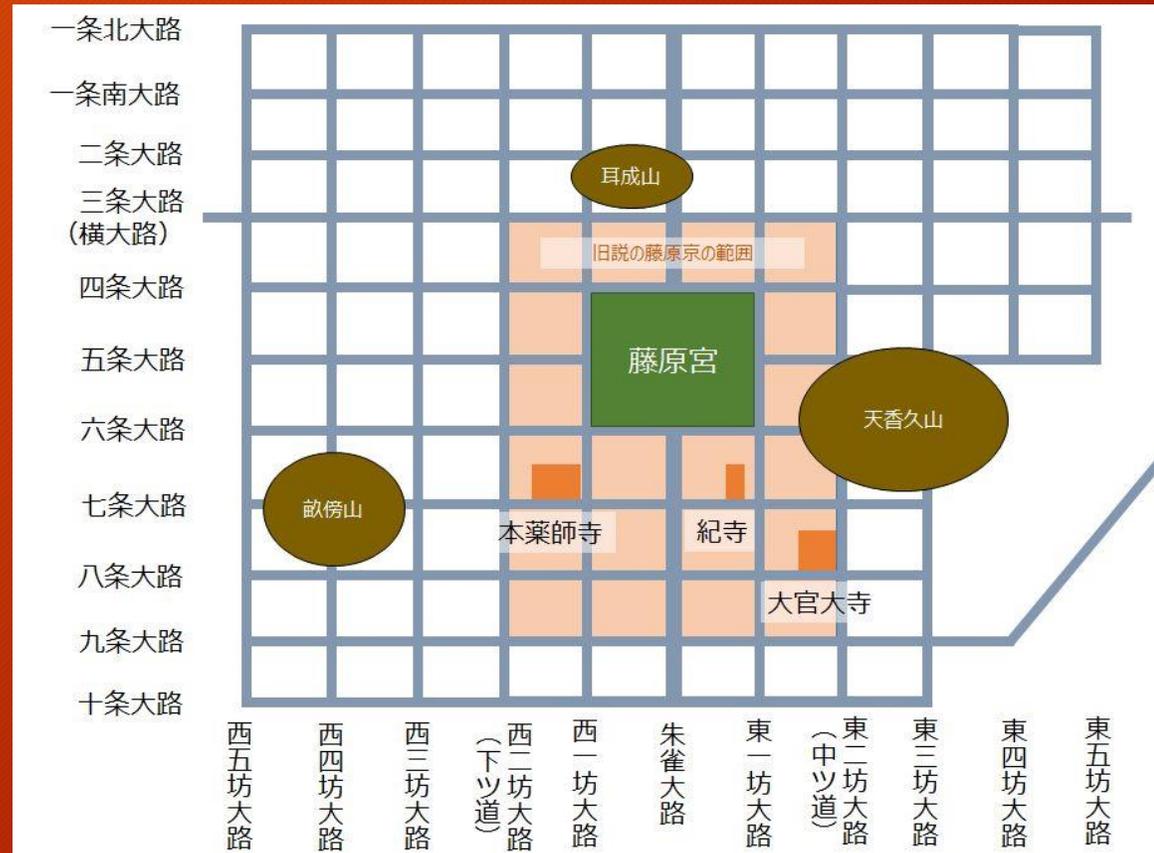
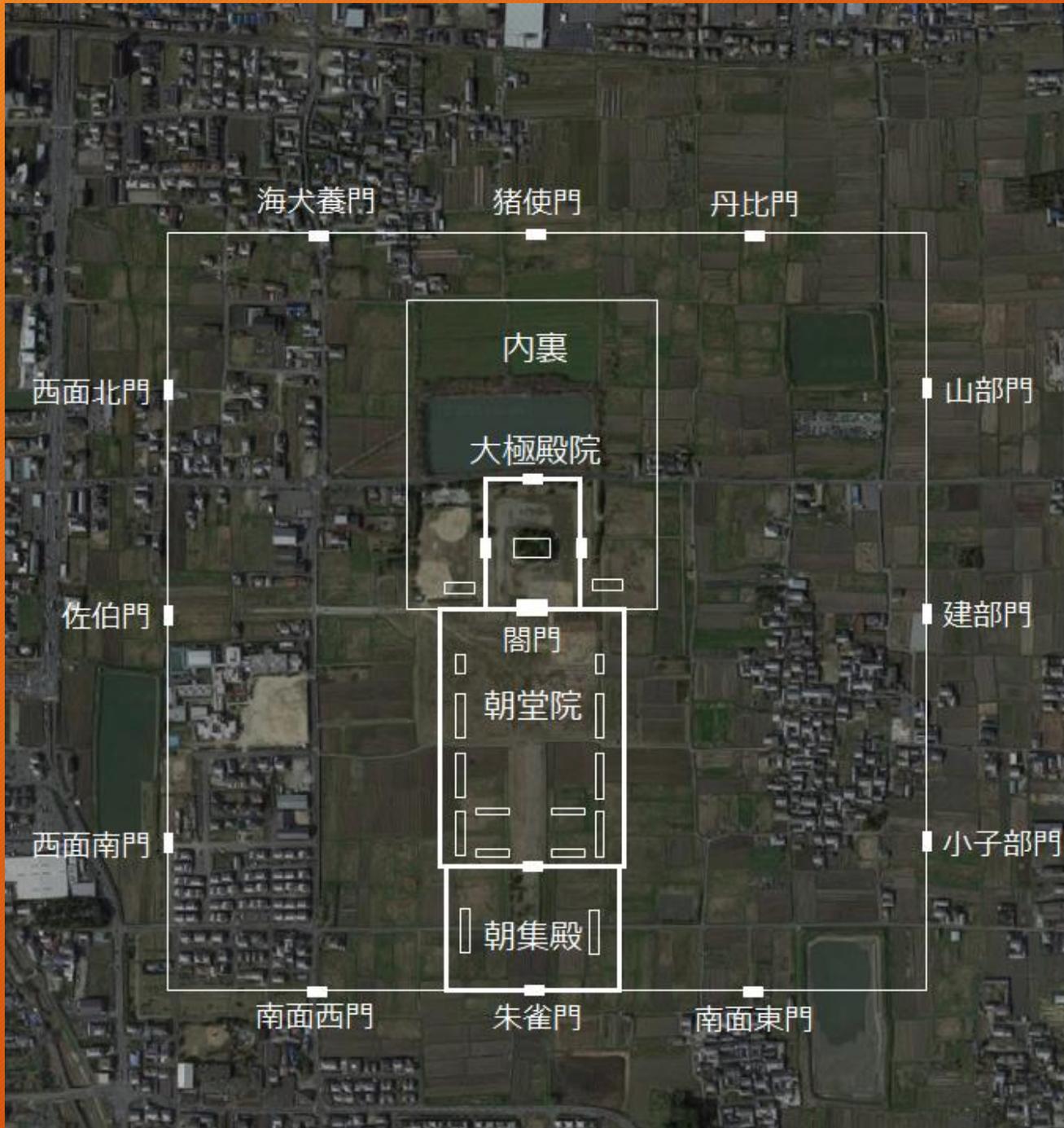
大宰府政庁と条坊



藤原宮と藤原京

太宰府よりも難波京が全国統治に規模も場所も適切。

藤原宮と条坊



大極殿

A wide-angle photograph of a grassy field under a blue sky with scattered clouds. In the middle ground, there are several groups of red cylindrical stone pillars, which are the remains of the Great Hall at Fujiwara-kyo. A line of green trees is visible in the background.

藤原宮 大極殿跡

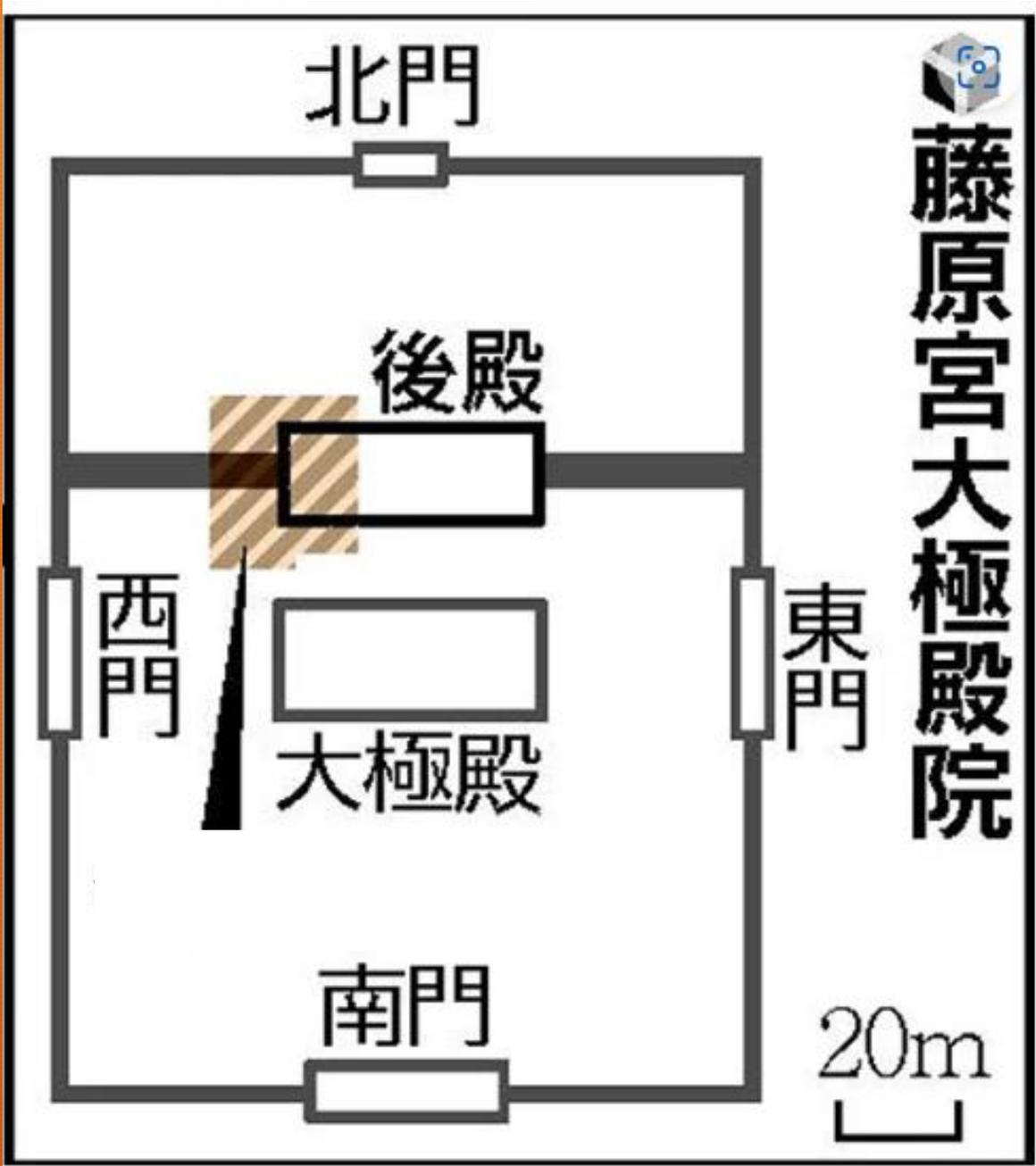
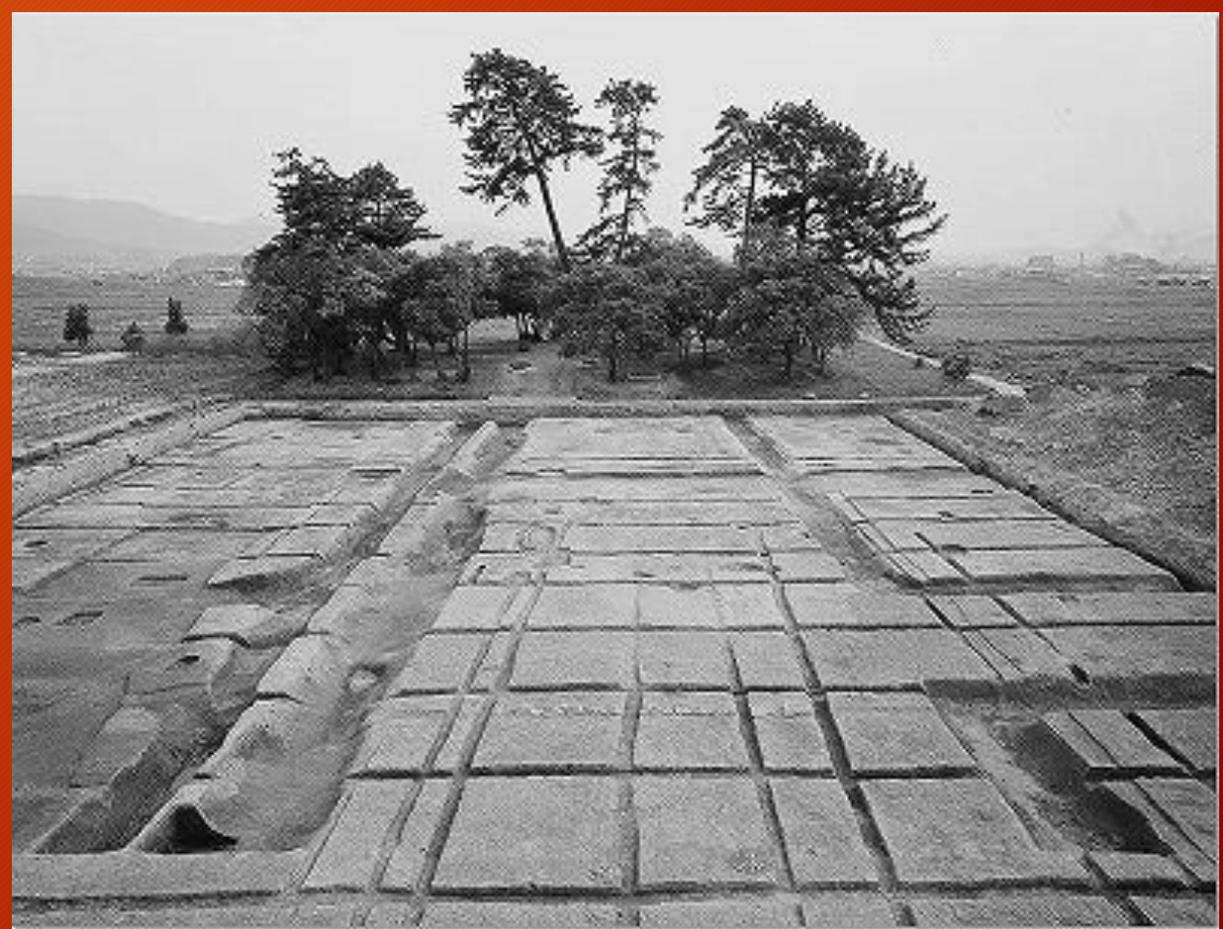
藤原宮・京には多くの謎があります

A photograph of a large, traditional Japanese wooden building with a dark, multi-tiered roof and red pillars. This is a reconstruction of the Great Hall at Heijou-kyo. The building is situated on a raised platform. In the foreground, a group of people is walking on a paved area.

平城宮 大極殿

謎

大極殿北方の先行朱雀大路(北から)



藤原宮内先行条坊の謎

藤原宮の下層に藤原京と同規格の条坊道路が通されている。藤原宮に先行する「**宮内先行条坊**」とよばれ、藤原宮下層のいたるところで検出されている。

なぜ藤原宮造営予定地に条坊を施工したのか。藤原宮の位置が、条坊敷設当初には決まっていなかったとする説がある（**宮地未定説**）。先行条坊が宮外の藤原京条坊と同規格で作られていることに加え、藤原宮の下層に建物や塀が建てられ、宮外と同じように坪内が利用された時期があり、**当初その場所が藤原宮になることが決定していなかった**と考える説。

これに対し、藤原宮は先行条坊を基準に設計されており、先行条坊は宮・京を設計するための測量成果を土地に記すという意味もあり、宮建設予定地に条坊施工がなされていることは不自然ではないとする説もある（**測量基準説**）。しかし、**京の造営という国家的計画が、宮地未定のまま進められたというのは不自然**。宮内にくまなく条坊側溝を掘削した理由も説明できない。藤原宮造営時、既に先行条坊の側溝は埋め立てられており、埋め立てから藤原宮建物の建設開始までには数年の時間があくことも、**測量基準説には不都合な事実だ**。

【飛鳥藤原出土の評制下荷札木簡】

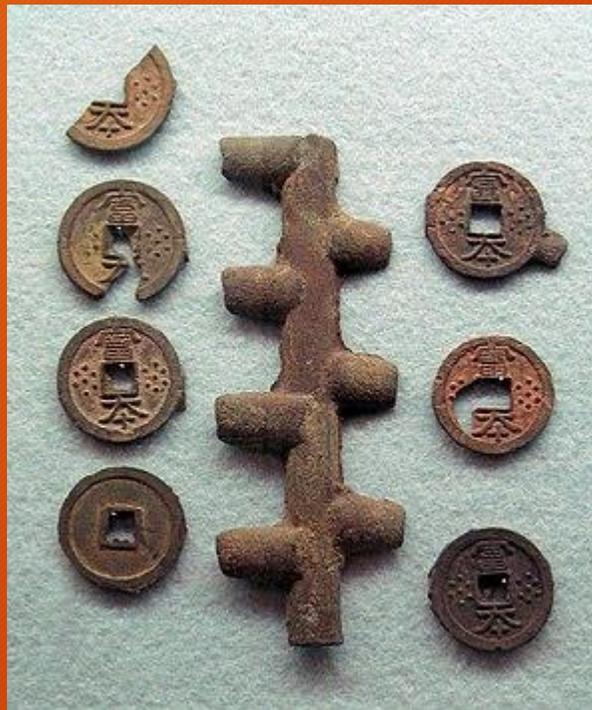
国名	飛鳥宮	藤原宮(京)	小計
山城国	1	1	2
大和国	0	1	1
河内国	0	4	4
摂津国	0	1	1
伊賀国	1	0	1
伊勢国	6	1	7
志摩国	1	1	2
尾張国	9	8	17
参河国	20	3	23
遠江国	1	2	3
駿河国	1	2	3
伊豆国	2	0	2
武蔵国	3	2	5
安房国	0	1	1
下総国	0	1	1
近江国	8	1	9
美濃国	18	4	22
信濃国	0	1	1
上野国	2	3	5
下野国	1	2	3

若狭国	5	18	23
越前国	2	0	2
越中国	2	0	2
丹波国	5	2	7
丹後国	3	8	11
但馬国	0	2	2
因幡国	1	0	1
伯耆国	0	1	1
出雲国	0	4	4
隠岐国	11	21	32
播磨国	6	6	12
備前国	0	2	2
備中国	7	6	13
備後国	2	0	2
周防国	0	2	2
紀伊国	1	0	1
阿波国	1	2	3
讃岐国	2	1	3
伊予国	6	2	8
土佐国	1	0	1
不明	98	7	105
合計	227	123	350

飛鳥宮・藤原宮 7世紀の統治領域 —荷札木簡の証言—

九州の空白の謎

市 大樹『飛鳥藤原木簡の研究』
(塙書房、2010年)所収「飛鳥藤原
出土の評制下荷札木簡」による。



飛鳥池工房跡と富本銭 天武期680年頃に鋳造

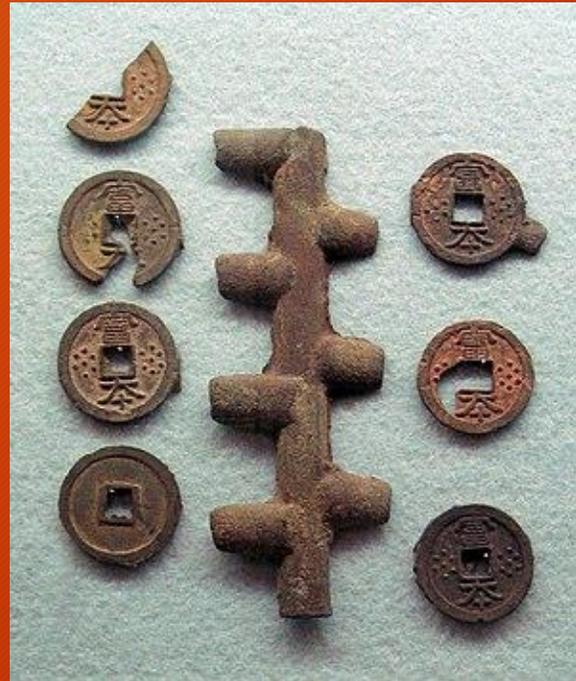




水晶9個と口をふさいでいた
富本銭9枚

藤原宮大極殿跡から
出土した地鎮具





藤原宮遺跡出土

飛鳥池遺跡出土

法隆寺 釈迦三尊像光背銘 (622年)

二
月
鬼
宮
法
上
勞
疾
並

法興元年十一月歲次辛巳十二月也
 前太后崩明年正月廿二日上宮法
 皇統病申念十食王后仍以勞疾並
 著於庚時王后王子等及與諸臣深
 懷愁慕共相發願仰依三寶前造釋
 像尺小玉身蒙此願力轉病延壽安
 住世間若果是定業以贊世者往於
 士早昇妙果二月廿一日於晉王后
 即世翌日法皇登遐癸未年三月申
 如願敬造釋迦尊像并依侍及莊嚴
 其竟乘斯微福信道知識現在安隱
 出生入死隨奉三主結經三寶通共
 彼塔普過六道法界令識得脫苦緣
 同趣菩提使司馬跋首止刹佛師造



藤原宮遺跡出土



飛鳥池遺跡出土

古代中国では天子の直轄支配領域を九つに分けて統治するという政治思想があり、その国家自身も「九州」と称するようになった。

倭国(九州王朝)もこの制度・呼称を採用したと考えられ、その遺称地名として「九州」(九州島のこと)がある。大宝元年(701年)の王朝交代後は大和朝廷(日本国)も自らの支配領域を「九州」と呼ぶようになった。

「詔して曰く、朕(聖武天皇)、九州に君臨す」『続日本紀』天平三年(731年)

「誠に是れ九州無双の勝地、一府第一の壇場なり」太政官符案 大宰府
嘉承三年(1108年)

「當寺は是れ九州の大厦、五代の御願なり」筑前観世音寺司解
康治三年(1144年)

平瓶内に封された**9個の水晶**は、当時(七世紀末から八世紀初頭)の**倭国(九州王朝)**の姿を表現しているのではないか。

その口の部分を封鎖するように置かれた**9枚の富本銭**は、貨幣の持つ力(霊力)で“**倭国(九州王朝)を意味する9個の水晶の復活を阻止する**、”という大和朝廷(日本国)の国家意志を表現したもの。

それでは何故、大和朝廷は自らの飛鳥池工房で造幣した新しい字体の富本銭ではなく、**古い字体の富本銭を地鎮具**に使用したのだろうか。この**古い富本銭**は**九州王朝**がどこか別の工房で造幣したものではないか。

そうであれば、大和朝廷は**九州王朝(9個の水晶)**を九州王朝造幣の**富本銭**で封印したことになる。それはなぜだろうか。

鎮壇具

大宰府政庁2期

中門・南門基壇から出土



水晶8個、琥珀が埋納

(2) 第1次調査出土地鎮具・鎮壇具

平城宮 地鎮具

平城宮の地鎮具 **和同開珎銅錢**

天皇や皇太子が住んだとされる平城宮跡東院地区(奈良市)で、奈良時代後半(8世紀後半)に埋めた地鎮具とみられる銅錢や灯明の皿が見つかったと、奈良文化財研究所が17日、発表した。

平城宮跡で地鎮具が発見されたのは初めて。出土したのは、平城宮の東側に張り出す東院地区の中央部にある方形の穴(東西40センチ、南北50センチ、深さ20センチ)。ひもを通した銅錢110枚以上の束の上に、灯明をあげるのに使ったとみられる皿(直径19センチ)が2枚載っていた。銅錢で文字が読める3枚は「**和同開珎**」だった。

(2008年1月17日22時25分 読売新聞)



東院地区で見つかった地鎮具とみられる錢の束と灯明皿(昨年12月、奈良市法華寺町(奈良文化財研究所提供))



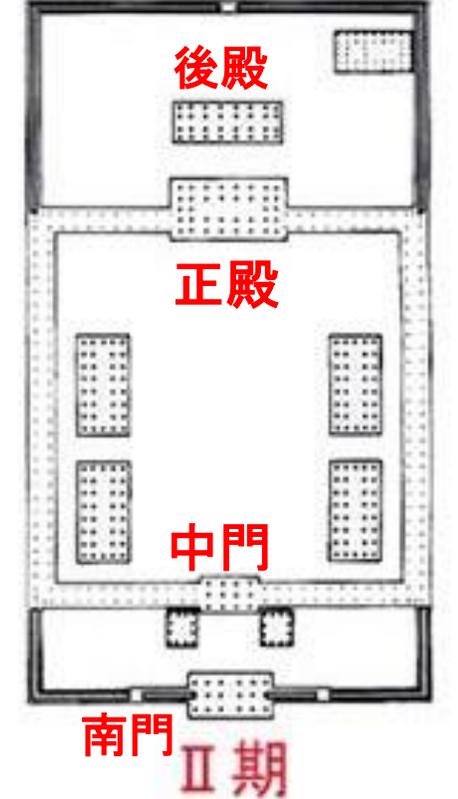
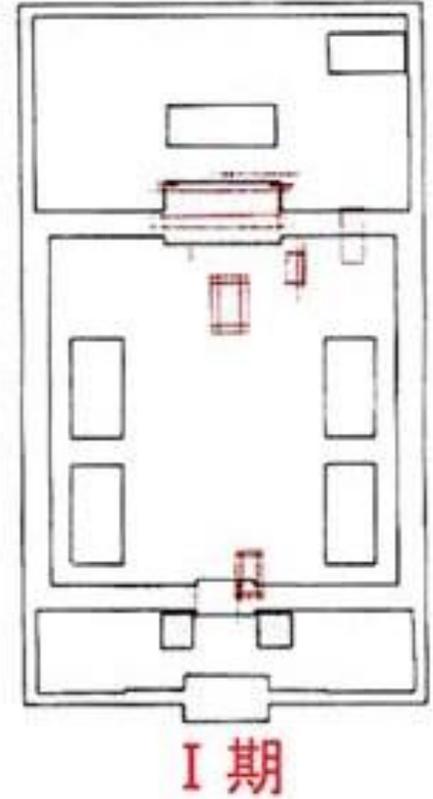
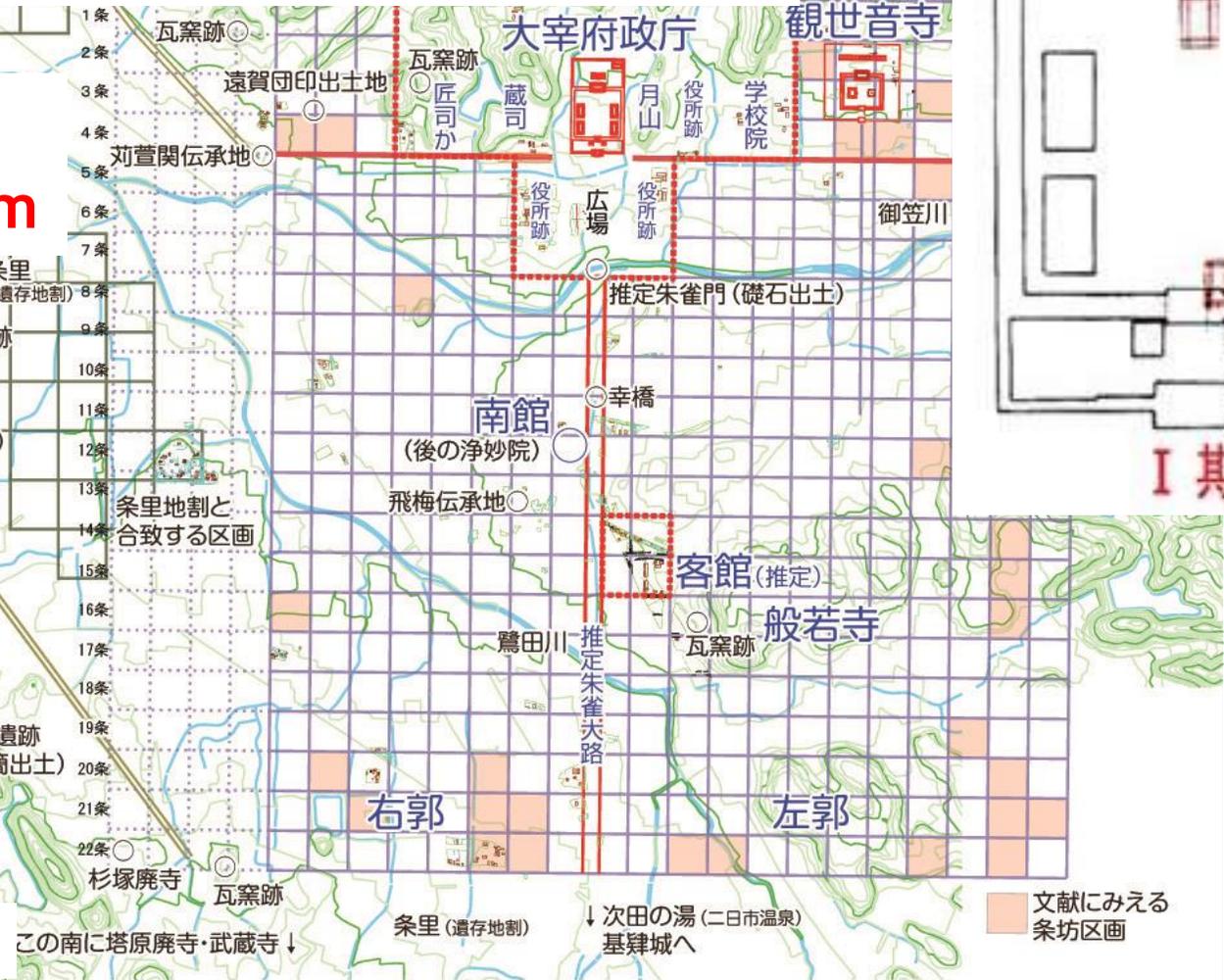
七世紀、王都・山城「造営尺」の変化

- 太宰府条坊 (90m四方。7世紀前半。通説では7世紀末) 1尺約 **30cm** (小尺で300尺)。
- 前期難波宮 (652年創建) 〔宮殿〕1尺 **29.2cm** 〔西北地区の方格区割〕1尺 **29.2cm**
〔条坊〕1尺 **29.49cm**
- 鬼ノ城 (七世紀頃) 〔倉庫跡〕1尺 **29.2cm** 〔西門〕1尺 **27.33cm**
- 大宰府政庁Ⅱ期、観世音寺 (670年頃。通説では八世紀初頭)
1尺 **29.6～29.8cm** (従來說) 政庁と観世音寺中心軸間の距離が594.74m。これを2000尺として算出 (**29.74cm**)。
- ※中国南朝尺 **24.5cm**の1.2倍に相当する「南朝大尺」と称すべき **29.4cm**尺を採用。(古賀説)
〔後殿〕南朝大尺(**29.4cm**)と条坊尺(**30cm**)を併用 〔正殿〕南朝大尺(**29.4cm**)
〔北門〕条坊尺(**30cm**) 〔中門〕条坊尺(**30cm**) 〔南門〕南朝大尺(**29.4cm**)と条坊尺(**30cm**)を併用
- 藤原宮 (694年遷都)
1尺 **29.5cm** ものさしが出土。※条坊区画の一単位は265m。900尺であれば、1尺 **29.44cm**となる。



条坊区画
1尺約 **30cm**

〔後殿〕1尺**29.4cm**と条坊尺**30cm**併用
 〔正殿〕1尺**29.4cm**
 〔中門〕条坊尺**30cm**
 〔南門〕1尺**29.4cm**と条坊尺**30cm**併用



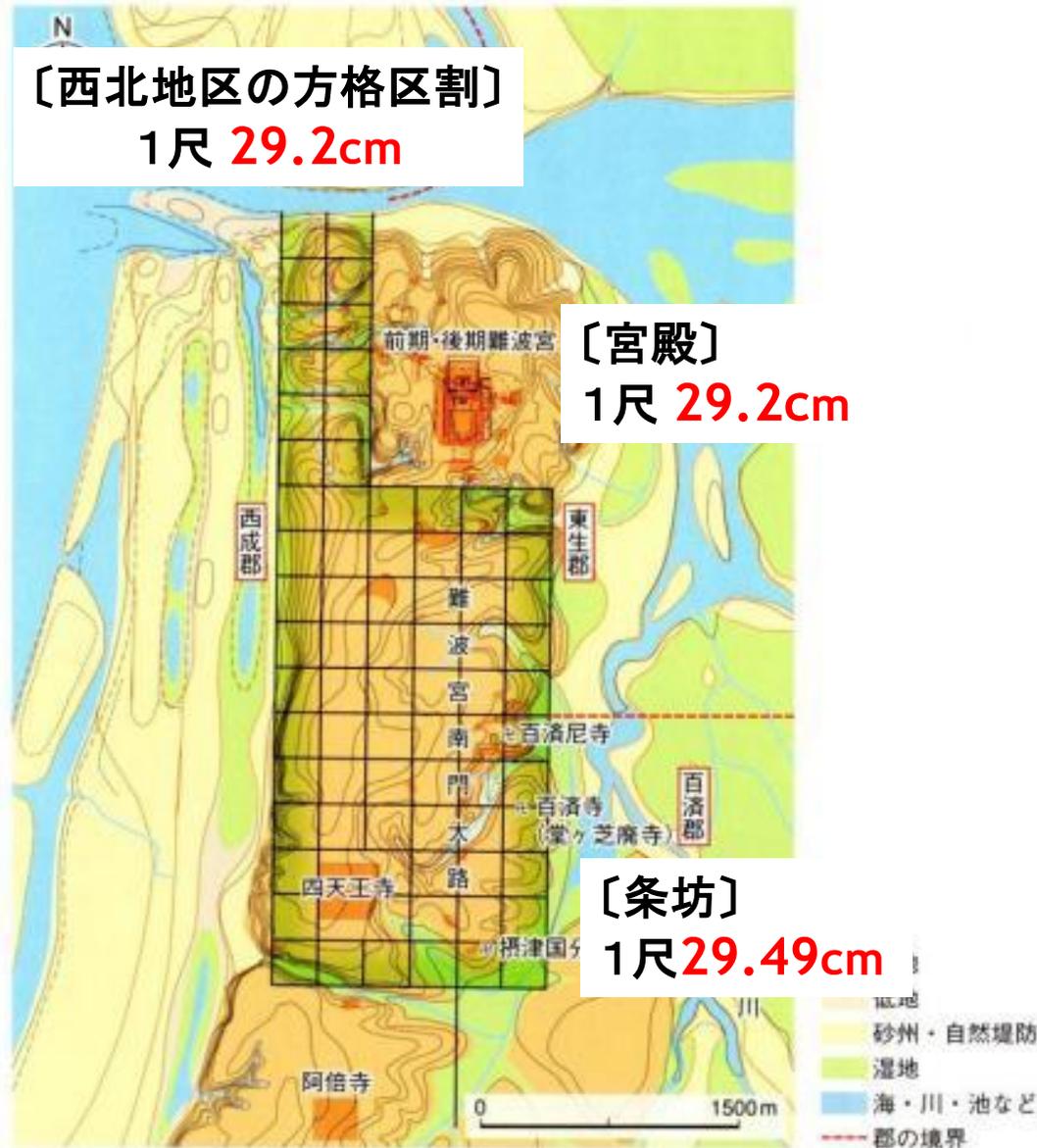
大宰府政庁

九州歴史資料館

井上信正氏作成

〔西北地区の方格区割〕

1尺 29.2cm



〔宮殿〕

1尺 29.2cm

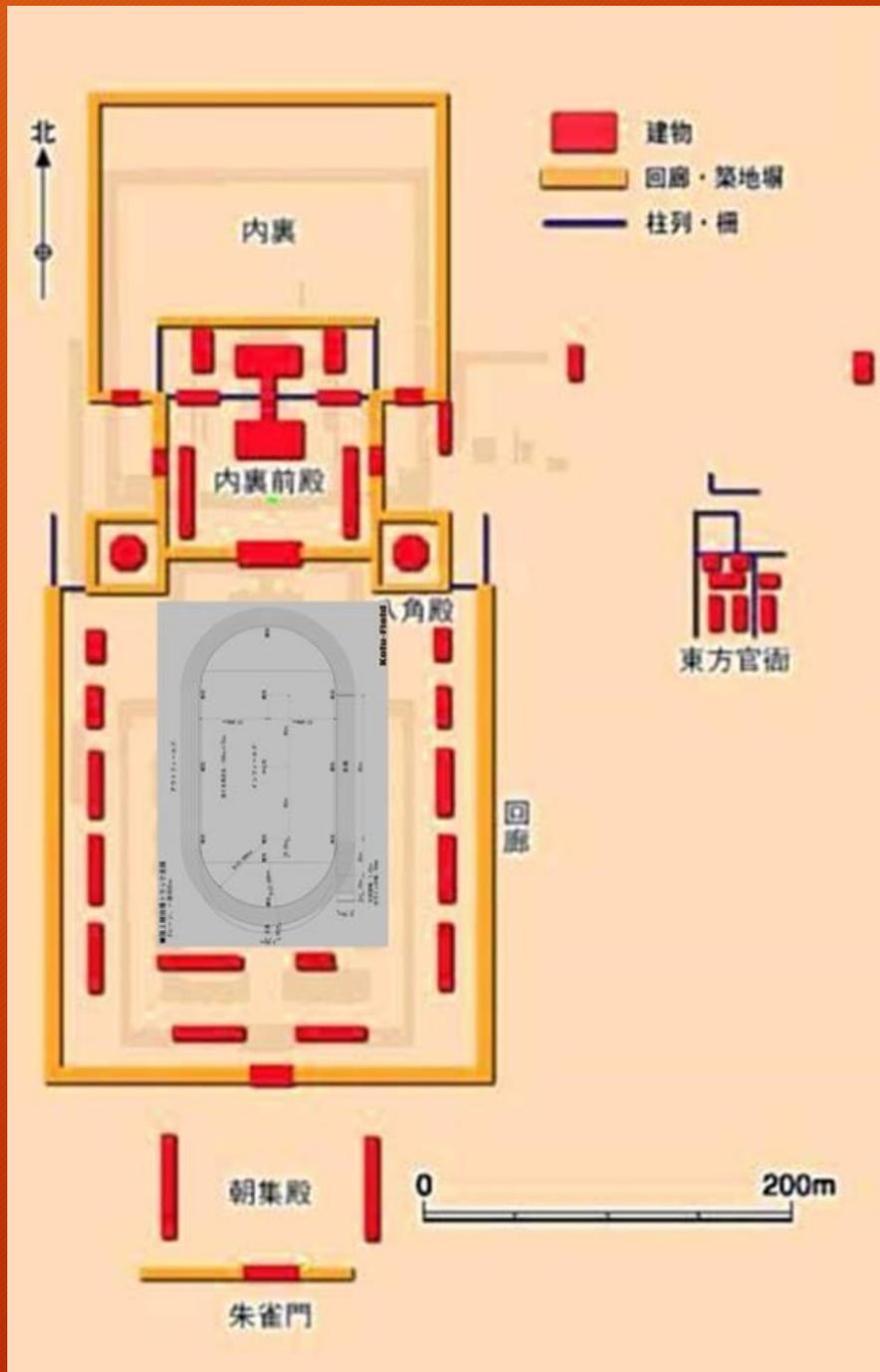
〔条坊〕

1尺 29.49cm

● 後期難波京の頃の上町台地復元図

最新の地理情報システム (GIS) に、過去の1000件を超える発掘調査のデータを入力して上町台地の旧地形が復元された。これに難波京復元案を重ねたのがこの図である。科学研究費補助金による最新の研究。

出所 / 「東アジアに開かれた古代王宮 難波宮」

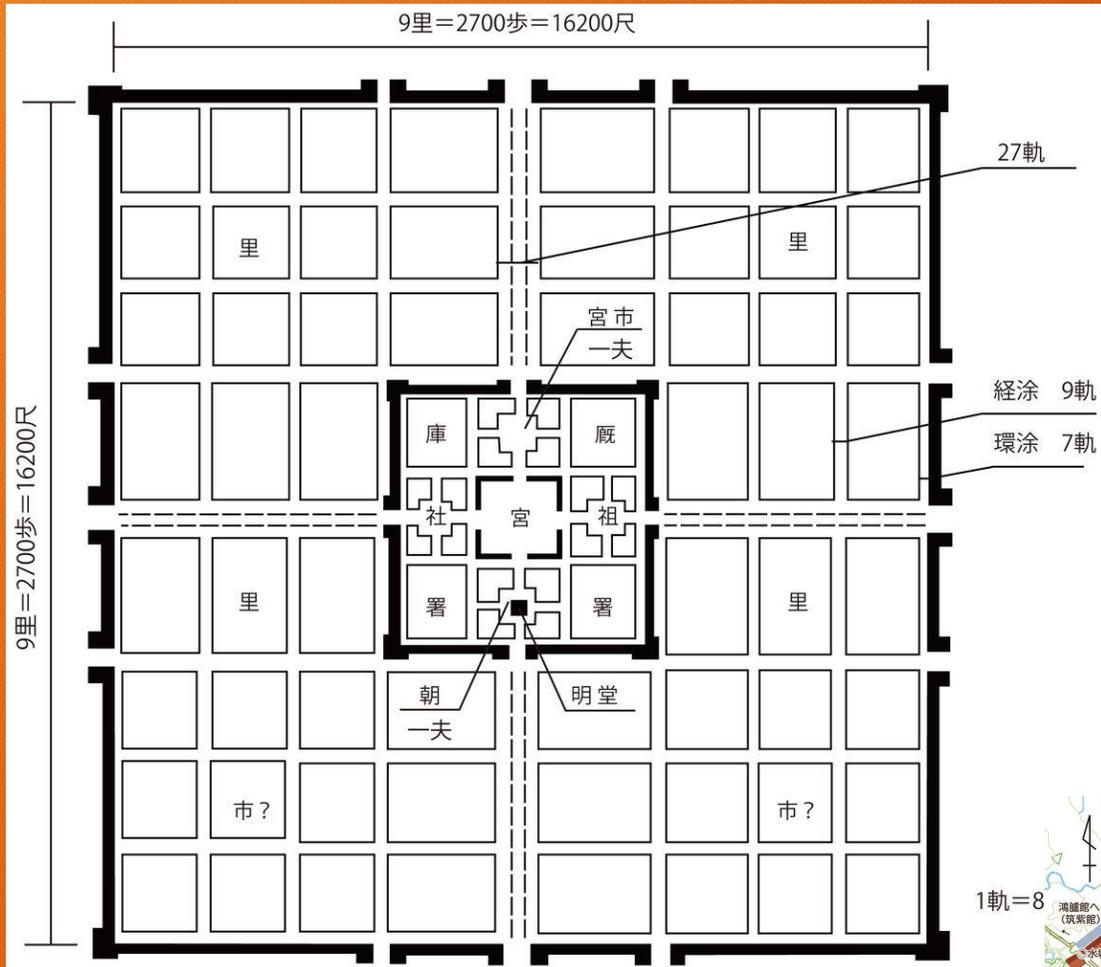


前期難波宮と難波京条坊



藤原京(新益京)
1尺 29.5cm





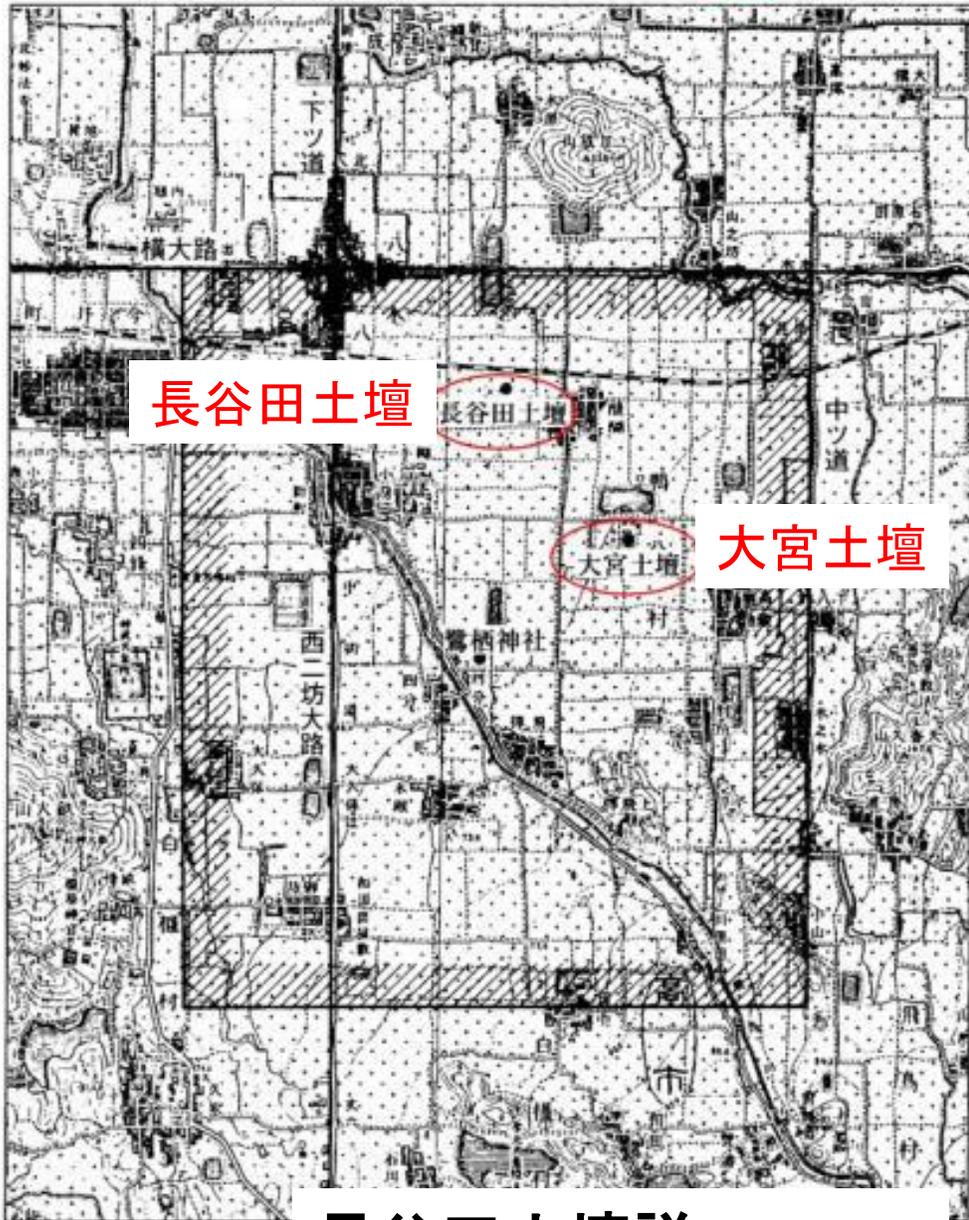
『周礼』考工記による解説図
「周礼式」条坊都市

井上信正説による

1軌=8
次田の溝(二日市遺跡) 藤原宮へ
文献にみえる 条坊区画

喜田貞吉復元藤原京域

○ 筆者記入



長谷田土壇

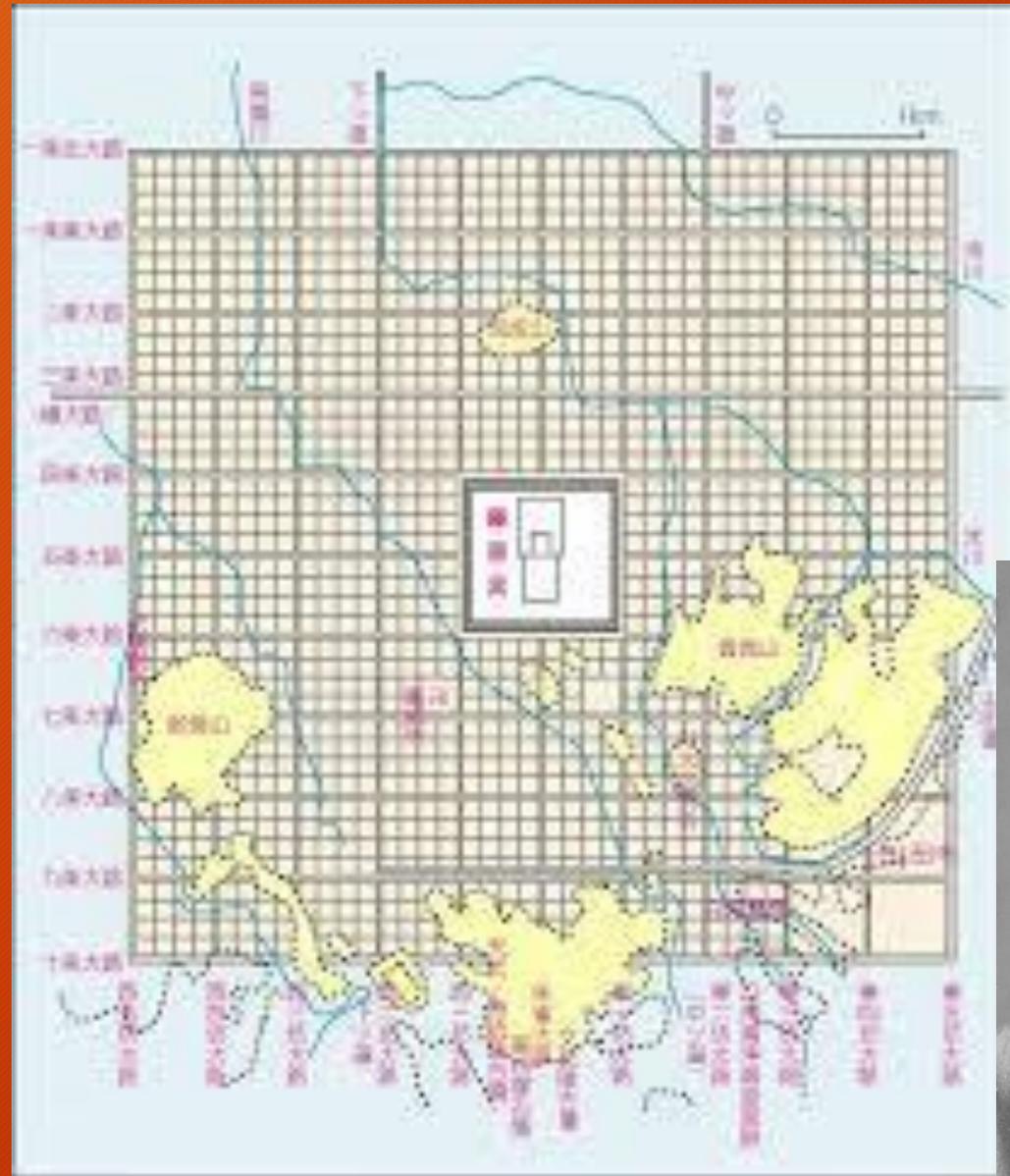
長谷田土壇

大宮土壇

大宮土壇

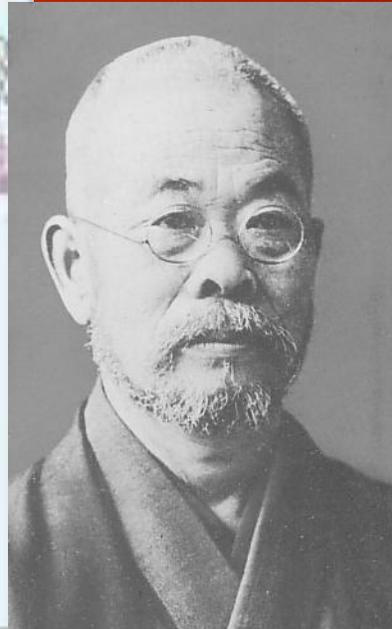
「藤原宮」飛鳥資料館より

長谷田土壇説(喜田貞吉)



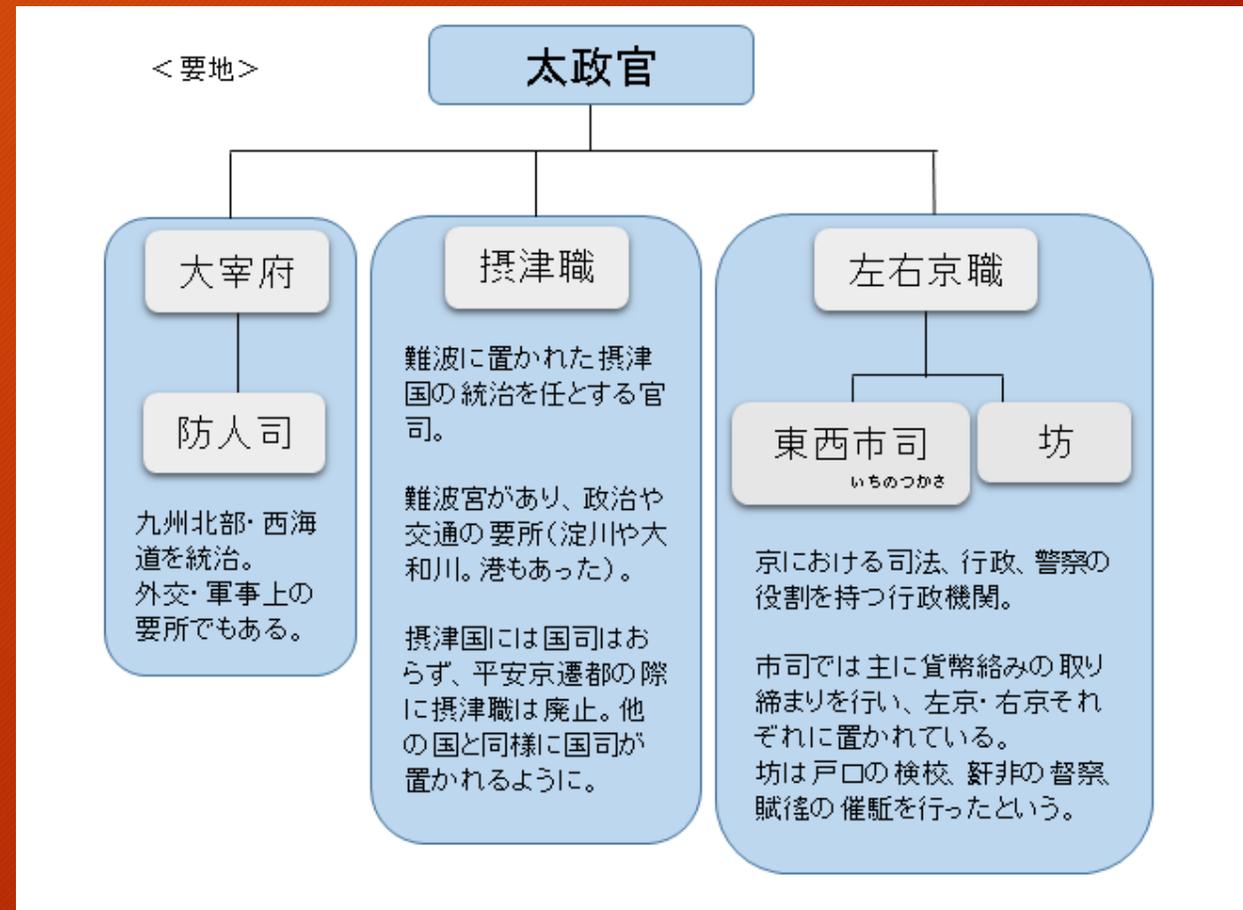
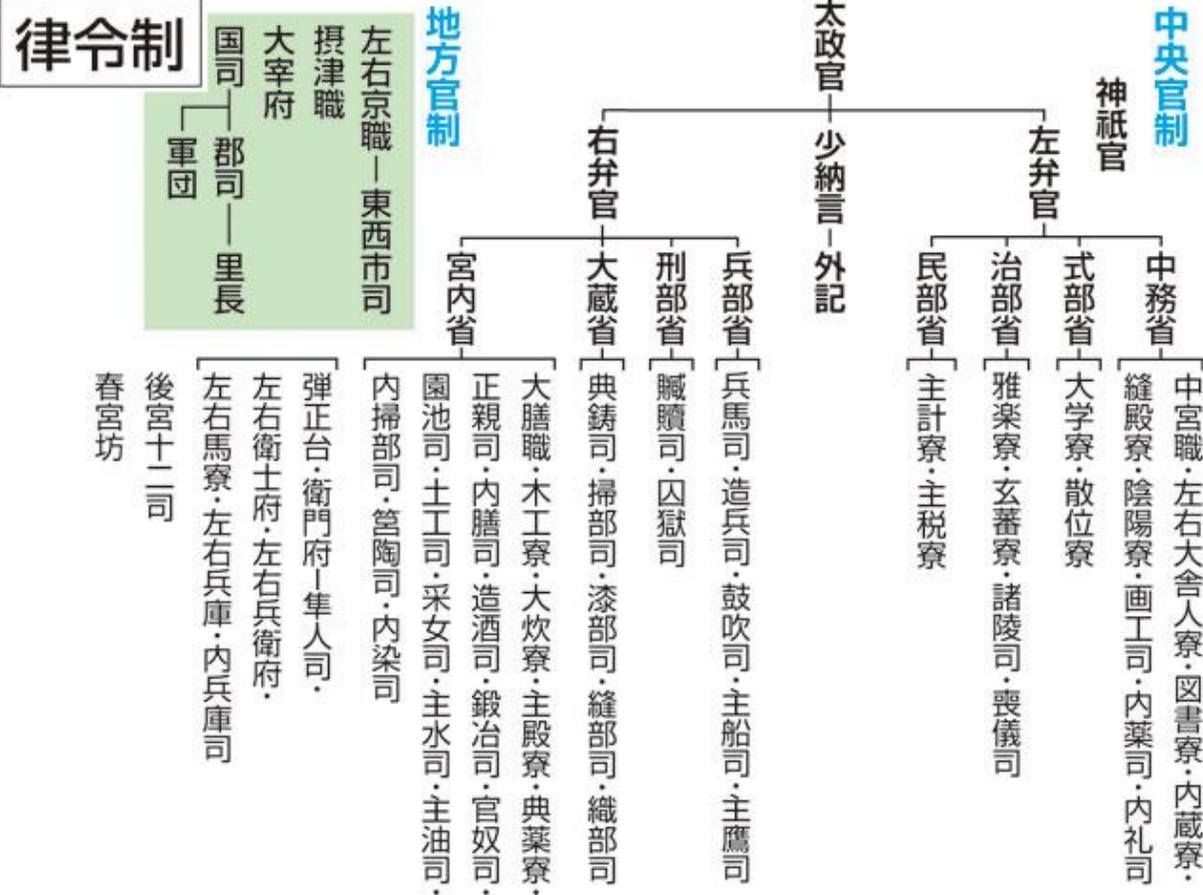
現在の定説 大宮土壇説

二つの
藤原京説



喜田貞吉
明治4年～昭和14年

『養老律令』によれば大和朝廷は西海道(九州)に**大宰府**を置き、**間接統治**した。
 難波京には**摂津職**を置き、**特別統治**した。
 それはなぜか。 両者は九州王朝の**都**だったから。
 そして、自らの**都**には**左右京職**を置いて統治した。



七世紀、律令制王都の絶対条件

- 《条件1》 **八千人**の官僚が執務できる**官衙**の存在。
- 《条件2》 官僚群と家族、商工業者、首都防衛の兵士ら**数万人**が居住できる**巨大条坊都市**の存在。
- 《条件3》 **数万人**の人口を養える**食糧**の確保。
- 《条件4》 食料や必要物資流通のための都を中心とする**官道(陸路・水路)**の存在。
- 《条件5》 都を防衛するための関や羅城などの**防衛施設**や地勢的有利性の存在。



狭山池堤体の断面

東樋に使用された木材の伐採が**616年**（**定居**六年、推古24年）と年輪年代測定で判定された。堤体の盛り土が幾層にも積まれ、その1部に植物層を含む層があることが判明し、**水城**と同じ敷葉工法（しきはこうほう/葉のついた枝を土留めに使う工法）が用いられていることがわかった。

狭山池は、大阪狭山市にある日本最古のダム式ため池。

狭山池



絶対5条件から見た九州王朝王都候補の評価

(1)官衙 (2)都市 (3)食料 (4)官道 (5)防衛

太宰府 <small>(倭京)</small>	△	○	○	○	◎
難波京	◎	◎	○	○水運	◎
近江京	○	×	○	○水運	○
藤原京	◎	◎	○	○	◎
伊予「紫宸殿」	×	×	○	○水運	×



古田武彦先生

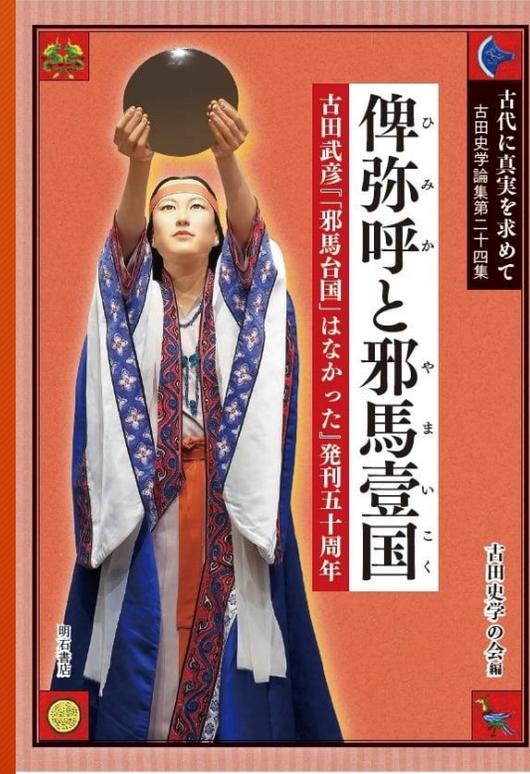
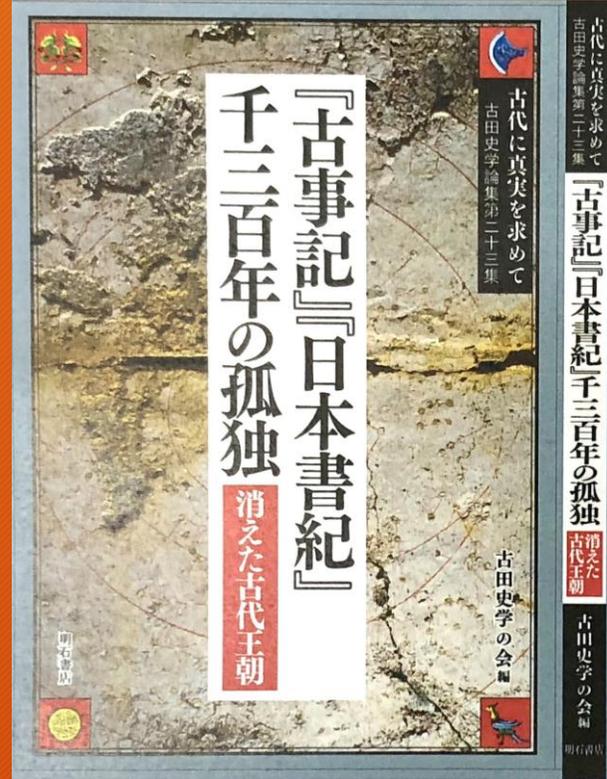
1926-2015

九州王朝から大和朝廷へ

古田武彦

(2011年8月、『俾弥呼』刊行の頃に自宅近くの竹林にて)

古田史学の会



ご清聴、ありがとうございました

古賀達也 (古田史学の会)

古田史学の会 会誌
『古代に真実を求めて』